

第2章 交通環境調査結果

自動車からは、一酸化炭素、炭化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物、粒子状物質(ディーゼル黒煙)等の大気汚染物質が排出されるが、県下でも、交通量が年々増加してきており、幹線道路の沿線地域等では、自動車排出ガスによる大気汚染が懸念される。

このため、大気環境監視の一環として、県下の主要交差点において、大気汚染移動測定車により自動車排出ガスの汚染状況調査を行っている。

〈調査地点・期間〉

調査地点：別府市、佐伯市、津久見市、日出町の計4地点

調査期間：平成22年11月～平成23年1月

※各地点とも、連続する7日間について調査を行っている。



	調査地点名	調査期間
①	堀交差点(日出町)	平成22年12月17日～12月24日
②	的ヶ浜公園前交差点(別府市)	平成23年1月7日～1月14日
③	中町交差点(津久見市)	平成22年11月17日～11月24日
④	上岡変電所先交差点(佐伯市)	平成22年12月8日～12月15日

〈調査項目・調査方法〉

- 二酸化硫黄 : 自動測定機(紫外線蛍光法)により測定
- 一酸化炭素 : 自動測定機(非分散赤外線吸収法)により測定
- 窒素酸化物 : 自動測定機(オゾンを用いる化学発光法)により測定
- 浮遊粒子状物質 : 自動測定機(β線吸収法)により測定

〈調査結果〉

測定結果について、表2-1に示す。

一酸化炭素、二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質濃度のいずれにおいても環境基準の超過はなかった。

表2-1 測定結果

調査地点	調査期間	一酸化炭素			一酸化窒素		二酸化窒素		二酸化硫黄		浮遊粒子状物質		風向	風速	
		日平均値	8時間値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	日平均値	1時間値	1時間値	日平均値	1時間値
		最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最高値	最頻風向	最高値	最高値
		最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	最低値	その割合	最低値	最低値
ppm			ppb		ppb		ppb		μg/m ³		%	m/s			
中町交差点 (津久見市)	11月17日	0.7	1.1	3.0	33	124	25	52	5	11	23	49	W	1.8	3.4
	～	0.4	0.3	0.2	4	0	11	4	4	2	12	0	19	0.9	0.1
	11月24日	0.6	0.6	0.6	16	15	18	17	5	5	17	17	9	1.3	1.3
上岡変電所先 交差点(佐伯市)	12月8日	0.6	0.8	1.2	46	112	21	44	3	10	24	59	WNW	0.9	2.5
	～	0.3	0.3	0.2	10	1	15	3	2	1	4	0	30	0.4	0.0
	12月15日	0.5	0.5	0.4	22	21	19	19	2	2	13	12	35	0.6	0.7
堀交差点 (日出町)	12月17日	0.9	1.0	1.8	109	277	40	55	15	29	33	72	NW	3.3	1.3
	～	0.3	0.3	0.1	33	8	24	10	10	10	5	0	20	0.0	0.5
	12月24日	0.6	0.6	0.6	54	51	32	30	12	13	24	26	20	1.0	0.9
的ヶ浜公園前 交差点(別府市)	1月7日	0.5	0.7	1.5	45	183	29	68	6	9	20	41	SSW	1.3	2.5
	～	0.4	0.2	0.1	15	2	19	5	3	3	6	0	14	0.8	0.2
	1月14日	0.4	0.5	0.4	29	32	25	26	5	4	13	13	9	1.0	0.9
環境基準 (参考)	日平均値が10ppm以下、 かつ、8時間平均値が20ppm 以下			—		日平均値が40ppb から60ppbまでの ゾーン内又はそれ 以下		日平均値が40ppb 以下、 かつ、1時間値が 100ppb以下		日平均値が100μg /m ³ 以下、 かつ、1時間値が 200μg/m ³ 以下		—		—	
測定方法	非分散型赤外分析計			オゾンを用いる化学発光法				紫外線蛍光法		ベータ線吸収法		風向・風速計			